

# 教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	にわ や え こ 丹 羽 ヤ エ 子	所属・職名	幼児保育学科・准教授	
専門領域	保育指導論	学位称号	準学士・1967（昭42）	
最終学歴	1967（昭42）佐賀短期大学 保育科卒業			
資格・免許等	幼稚園教諭一種免許・保育士資格			
教育上の能力に関する事項				
担当科目	乳児保育、保育指導論、保育実習指導、保育所実習Ⅰ・Ⅱ、卒業演習、子どもと自然あすなろう、共に学ぶあすなろう、就職支援対策、保育内容総論、人間関係、総合表現			
教育方法の実践例	<p>保育指導論において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の日常生活を手作りビデオで紹介し、幼児理解に努める。</li> <li>・ 折り紙指導の導入や、30年以上の実務経験を授業に取り入れ、即戦力となる養成に繋げている。</li> <li>・ 保育所実習用の名札指導も、実習のみならず学校見学会で展示し彩を添えている。</li> <li>・ 教科書「事例から学ぶ 子どもを育む母親援助の実際」を作成し、「考える」テキストとして発想力や思考力、具体的対応力を養い、グループディスカッションして取り組むことで学習効果を高めている。母親支援の実践力を身につけられる。</li> </ul> <p>乳児保育において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業形態が講義から演習に変更になる際、「大学教育高度化推進特別経費」にて2回にわたり新生児モデル人形を取り揃え、演習方法を確立し更なる内容の充実を計っている。</li> </ul> <p>教材の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布おもちゃや軍手人形を創作し、保育所実習・学校見学会などで展示している。</li> </ul> <p>保育所実習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「大学教育高度化推進特別経費」の教育・学習方法等改善支援助成をうけて『「実習指導テキスト」－保育所－』を作成。指導内容の集約と学生参加型を志向した独自のテキストで、特に授業理解を深めている。また、ワークシート形式を取り入れ、教科や実習で学ぶことを反復習熟することができている。はじめての学外実習としての責任を果たすことに役立っている。</li> <li>・ 学外実習「保育所実習ⅠⅡ」の実習評価を全員対象に公開し、放課後一人5-7分かけて分かり易く説明、補足、助言して、次への実習へと繋げている。</li> </ul> <p>卒業演習について</p> <p>今年度より実技系の卒業研究は内容の大幅変更を実施した。合同活動もあるが、ブラックシアターは毎年、新鮮な夢と感動を与え好評であるが、創作物のスケールが大きく、出前講演できなかったため、外部公演できるように研究し、出張講演も可能にした。</p>			
職務上の実績に関する事項				
<p>筑後中央幼稚園（福岡県筑後市）</p> <p>平成4年4月～平成13年3月まで園長として従事し、主に園の総括的な業務から職員の指導、各養成校からの実習生の実習指導（30年以上の専門職実務体験で指導実習生は300名に及ぶ）、父母の会活動を通じた指導や子育てスクールの開催や育児相談など、特に筑後地域の幼児教育の向上や九州管内に留まらず山口県内まで含んだ実習生の受け入れ指導にも努めた。平成13年4月から非常勤講師として平成17年3月まで活動。その間、筑後市小中学校PTA連合会の講演や筑後市同和教育研究会委員なども務め、地域貢献にも尽くした。</p>				
研究業績等に関する事項				
《平成18年度～平成22年度》				
著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は発表の年月	

事例から学ぶ 子どもを育む母親援助の実際 実習指導テキスト ー保育所ー 「杉・桧材を用いた机・椅子が幼児に及ぼす効果」ー 預かり保育園児へのインタビューと保護者へのアンケートを手がかりに 保育者を目指す学生と子育て支援「親子いきいき広場」の教育効果 実習指導テキスト 改訂 ー保育所ー 表現活動の実践力育成に向けての取り組み ー実技発表会の開催を通してー ワークシートで学ぶ 保育所実習 123「保育所実習指導のミニマムスタンダード」 保育実習指導における実習効果の改善に向けた取り組みー実習指導テキスト作成をとおしてー 保育所実習指導における実習効果の改善に向けた取り組みー実習指導テキスト作成をとおしてー 保育実習における保育所評価と学生自己評価に関する考察 保育内容・保育方法総論の理論と活用 「2年生が1年生に教える」「1年生が2年生に学ぶ」教授法の意義について 保育実習における保育所評価と学生自己評価に関する考察 赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力 プロとしての保育者論 FD研修「リメディアル教育」の理解と実践について のー考察～実習日誌の記述からみる漢字能力について～	共著 単著 発表  共著 単著 共著 共著 発表 単著 発表 共著 共著 単著 共著 共著 単著	保育出版社 大同印刷株式会社 日本乳幼児教育学会第 17 回大会  永原学園佐賀短期大学紀要第 38 号 大同印刷株式会社出版部 永原学園佐賀短期大学紀要第 38 号 同文書院  日本乳幼児教育学会第 18 回大会 永原学園佐賀短期大学紀要第 39 号 日本乳幼児教育学会第 19 回大会 保育出版社 永原学園西九州大学短期大学部紀要第 40 巻 永原学園西九州大学短期大学部紀要第 40 巻 保育出版社 保育出版社 永原学園西九州大学短期大学部紀要第 41 巻	2007(平 19)3 2007(平 19)3 2007(平 19)8  2008(平 20)3 2008(平 20)3 2008(平 20)3 2008(平 20)6 2008(平 20)11 2009(平 21)3 2009(平 21)11 2010(平 22)2 2010(平 22)3 2010(平 22)3 2010(平 22)3 2011(平 23)2 2011(平 23)3
---	--	--	--

大学教育高度化推進特別経費助成金	2002(平14)年
大学教育高度化推進特別経費助成金	2004(平16)年
大学教育高度化推進特別経費助成金	2006(平18)年
大学教育高度化推進特別経費助成金	2007(平19)年

学会及び社会における活動等

(学会)	2001(平13)年4月～日本保育学会会員	(現在に至る)
	2002(平14)年4月～日本保育園保健協議会	(現在に至る)
	2003(平15)年5月～日本乳幼児教育学会会員	(現在に至る)
	2003(平15)年7月～日本保育園保健協議会会員	(現在に至る)
	2006(平18)年8月～日本こどものための委員会	(現在に至る)
	2007(平19)年8月～九州保育研究会	(現在に至る)
	2007(平19)年4月～佐賀県小児保健学会	(現在に至る)
(社会活動)	2005(平17)年7月～佐賀県保育士受験対策講座講師(言葉)	(現在に至る)
	2006(平18)年8月～2007(平19)年3月 平成18年度全国展開支援事業(諸富町商工会)全国展開支援委員・全国展開専門委員(環境と安全に配慮した子供用インテリア・玩具の開発)	
	2002(平14)年4月～筑後中央幼稚園理事	(現在に至る)
	2008(平20)年9月～日本保育園保健協議会佐賀園幹事	(現在に至る)
	2006(平18)年4月～開成保育園理事	(現在に至る)
	2009(平21)年8月～唐津市肥前地区民間幼保連携型認定子ども園設置運営事業者選定委員会委員(選定委員会所掌事務終了日まで)	
	2010(平22)年7月～全日本私立幼稚園連合会九州地区会代26回教師研修大会長崎大会 助言者	

